

地域医療構想推進に向けた勉強会（意見交換会）第 3 回開催報告
（地域医療構想普及啓発セミナー合同開催）

1 日 時 平成 31 年 1 月 23 日（水）14 時 35 分から 16 時 30 分

2 会 場 川崎市コンベンションホール

3 出席者 125 人

内訳（申込者ベース）

会員及び会員病院職員等 70 人（23 病院）

行政機関 神奈川県医療課 4 人

川崎市健康福祉局保健医療政策室 6 人

川崎市病院局（庶務課・経営企画室） 5 人

その他 40 人

4 内容

(1) 講演 14 時 35 分から 15 時 45 分

「地域医療構想・地域包括ケアのこれから」

講師 神奈川県病院協会常任理事・神奈川県医師会理事・小松会病院院長

・川崎地域地域医療構想調整会議委員 小松幹一郎 先生

(2) 地域医療構想推進勉強会 15 時 50 分から 16 時 30 分

（会議内容要旨）

会長が開会を宣し、川崎北部医療圏における基準病床の見直しについて川崎市から説明があった。

・今年度の川崎市北部の基準病床数の試算では訂正前の病床過剰数の減少が 292 床だったのに対して基礎数値の訂正により 106 床の減少となった。

・川崎市北部の基準病床数について、毎年の見直しは負担になるのではないかとの意見があったが、明確な結論は出なかった。

続いて、定量的な基準の導入について川崎市から説明があった。

・急性期を 2 つに分けた理由について質問があり、定量的基準の主目的は地域医療構想会議の議論の活性化のための参考値との説明があった。

・定量的評価に導かれて、医療を変えていく、目標にしていくものではないかとの意見もあった。

地域医療構想実現に向けた今後の方向性での意見交換では、今後も川崎地域地域医療構想調整会議の前に広く各病院の意見を聴取・集約していきたいなどの発言があった。

会長が閉会を宣し、16 時 30 分に閉会した。